

食中毒に気をつけよう

冬はノロウイルスにご用心!



食中毒は夏だけではなく、ノロウイルスによる食中毒は冬に多く発生します。

ノロウイルスは、感染力が非常に強く、小さな子どもや高齢者など抵抗力の弱い人は重症化する場合があります。きちんと対策し、感染を防ぎましょう。

ノロウイルスから身を守ろう

こまめにしっかり手洗い

手洗いは手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法です。調理前、食事前、トイレ後、オムツ交換後などに必ず行いましょう。



食品は90秒以上加熱

ウイルスは熱に弱いことから、食品を加熱することは有効な予防方法です。食品の中心温度が85～90℃の状態です。90秒以上加熱しましょう。



どうやって感染するの?

ノロウイルスは、手指や食品などを介して経口で感染します。具体的には、感染者の便やおう吐物などを介して、人から人へと感染する場合と、感染者に汚染された食品を介して感染する場合があります。

どんな症状がでるの?

ウイルスの潜伏期間は24～48時間で、吐き気、嘔吐、発熱、下痢、腹痛などの症状がみられます。通常、これらの症状が1～2日続いた後、治癒します。感染しても症状が出ない場合もあり、気付かないうちに人にうつしてしまう場合もあります。

調理器具は熱湯で1分以上消毒

まな板、包丁、食器、ふきんなどの調理器具は熱湯（85℃以上）で1分以上の加熱消毒が有効です。

また、二枚貝などを調理するときは、専用のまな板を使用しましょう。



便やおう吐物の処理に注意

ノロウイルスの消毒にアルコールは十分な効果がありません。床などに飛び散った便やおう吐物の処理は、次のような方法で速やかに処理し、二次感染を防ぎましょう。

- ① 使い捨てのマスクやガウン、手袋を着用し、ペーパータオルなどで静かに拭き取る。
- ② 塩素消毒液（次亜塩素酸ナトリウムまたは市販の塩素系漂白剤を水で薄めたもの）で消毒する。
- ③ 拭き取ったおう吐物や手袋などはビニール袋に密閉して廃棄する。終わったら丁寧に手を洗う。



問合せ先 健康推進課 ☎25-5311



▲寄港したダイヤモンド・プリンセス ▲鞆山岸壁ではリンゴ型タオルの配付やハイタッチで乗船客を歓迎



▲観光案内をするクルーズボランティア（右）

多くの市民が参加したにぎわいとおもてなし

11月16日、外国大型クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が敦賀港に寄港しました。

鞆山岸壁では、クルーズボランティアや地元の高中生らによる乗船客の歓迎が行われました。リンゴ型タオルを手渡すボランティアやハイタッチで出迎える高校生に、乗船客は笑顔で応えます。クルーズボランティアに市内の行き方を尋ねる乗船客は、やりとりを終えると「センキュー」と言って市内に出かけて行きました。

雅楽、居合道、合気道のパフォーマンスと書道体験が行われた武道館には、たくさんの外国人観光客が訪れました。合気道を見た一人が「この人の技は素晴らしい。夜の道で会いたくないわ」とユーモラスなつぶりの感想を言うと、演者と観客からは笑いがこぼれ、会場は温かな空気で包まれました。

夕方、鞆山岸壁に設けられたステージでは、高校生による書道パフォーマンスやスコップ三味線、キッズダンスが披露されました。悪天候の中での熱演に、乗船客からは惜しみない拍手が送られました。

そして、いよいよ出港の時。高校生による吹奏楽の演奏の中、少しずつ岸壁を離れていくダイヤモンド・プリンセスに、集まった人は「また来てね」と声をかけて大きく手を振ります。

出港に立ち会った人の一人は「乗船客と見送る側お互いの『ありがとう』という気持ちが伝わってきて、とても感動しました」と話しました。

4度目となる今回の寄港も、港や街中で様々なイベントが開かれました。イベントに参加する人、ボランティアとして案内する人など、多くの市民が参加したおもてなしは、港町をにぎわいと温かさで包みました。



▲出港するダイヤモンド・プリンセスを岸壁で見送る様子

来年、ダイヤモンド・プリンセスは4回寄港することが決定しています。次はあなたも一緒に「おもてなし」に参加しませんか。

▼雅楽の演奏・演舞を観賞する外国人観光客

▼居合道演武での巻藁の試し切り

▼合気道を体験する外国人観光客

▼書道体験をする外国人観光客



問合せ先 敦賀みなと振興会（観光交流課） ☎22-8128